



#### 【具体的な取り組み例】

##### 「上尾都市計画地区計画策定に関わる運営支援」

上尾市からの依頼により、まちづくり活動を行っている学生のNPO（任意団体）と協働で、地区計画策定の運営支援を行った。  
上尾市におけるNPO法人への業務委託の初事例。

#### 【NPOが景観行政に参画するためのポイント】

##### 景観分野におけるNPOの活動の実態

NPO等の市民団体は、都市現象に伴って活動を行っている場合が多い。  
景観の形成のために活動を行っているというよりも、活動の中で景観がリンクされる。

##### NPOが参画するためのメリット

参画することによるメリットがNPO側に感じられないと、参画しない。  
メリットのひとつは資金面である。地方公共団体からの委託事業であれば、活動資金を担保できるため、参画できる。

#### 【地方公共団体の協力連携のあり方についての知見】

##### 地方公共団体の連携のあり方

地方公共団体が施策を策定しても、運用するモチベーションがないと動かない。モチベーションを高めることが必要である。モチベーションを高める方法としては、市民やNPO団体からの突き上げや首長の方針、担当者の熱意などが考えられる。

地方公共団体が必要としていることは「やり方」ではなく「課題解決のプロセス」だ  
と思う。先進的な地方公共団体が具体的な個々の問題を解決するときに、どのような団体とどのような連携を図ったのか、ということが参考になる。